

住み慣れた地域で ずっと暮らし続けられる社会へ

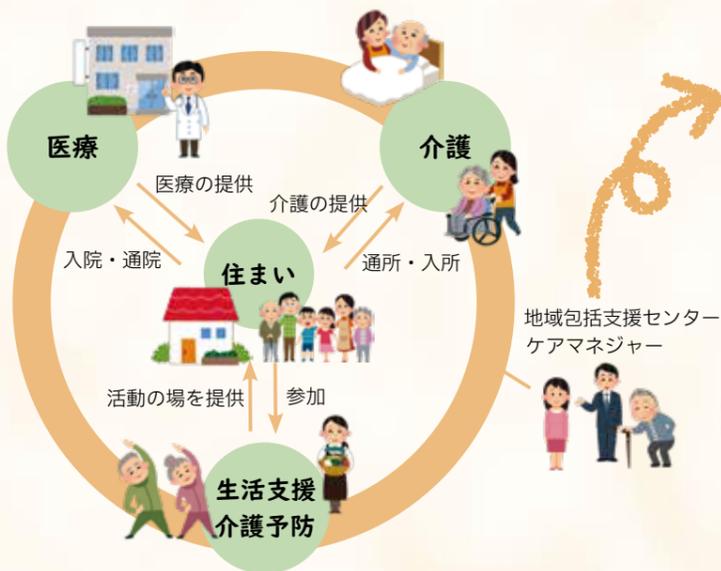
団塊の世代が75歳以上を迎え、本市でも約4人に1人は65歳以上となっており、今後も高齢者数は増加することが見込まれています。今回は、医療や介護が必要となっても住み慣れた地域で自分らしく暮らすための仕組みをそれぞれの立場から紹介します。

問 長寿福祉課 TEL(31)3737・FAX(31)2037

地域包括ケアシステムでつながる

地域包括ケアシステムとは、高齢者が要介護状態となっても、住み慣れた地域で「住まい・医療・介護・介護予防・生活支援」が一体的に提供される仕組みです。

<地域包括ケアシステムのイメージ>



地域包括支援センターとは？

地域包括ケアシステムのつなぎ役として、保健・医療・福祉などの側面から包括的に支援する相談窓口です。

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう支援しています。気軽に相談してください。

西部地域包括支援センター
センター長 岡山さん

地域で暮らしを支える

医療 住み慣れた自宅で受ける「在宅医療」

通院が難しくなっても、自宅などで医療を受けられる体制が在宅医療です。定期的な訪問診療、急な体調変化への対応、看取りまでを見据えた医療支援を通じて、患者と家族の暮らしを支えています。



訪問診療で体調をチェック

通院が難しい人でも、本人の意思を尊重し、どこで療養したいかに合わせて診療しています。身近なかかりつけ医として、何でも相談してください。

赤松在宅診療クリニック
院長 赤松さん

介護 予防

口の健康から全身の健康を守る

通院が難しい人への訪問歯科診療、口腔ケアによる誤嚥性肺炎^{ごえんせい}の予防、噛む力・飲み込む力の維持に取り組んでいます。口の健康を守ることは、低栄養や寝たきりの予防になり、介護予防の大切な柱となっています。



マナベ歯科医院
院長 真部さん

歯が気になる、痛みが出る前に毎日のお手入れが大切です。歯ブラシの使い方や普段のケア方法の指導なども行いますので、気軽にお越しください。



定期歯科検診

介護

身近な「地域の相談の場」として

ケアワーカーやケアマネジャーによる居宅介護サービスの提供のほか、日々の服薬管理や健康相談も介護を支える大切な要素です。地域の薬局も医療と生活をつなぐ身近な存在として暮らしを支えています。



飲み合わせ、副作用の相談

薬局は、薬を受け取るだけの場所ではありません。地域に根差した立場から、薬の飲み合わせや副作用の相談、服薬管理の支援、医療・介護・福祉へのつなぎ役として機能しています。



フジ薬局
薬剤師 藤居さん

介護 予防

いきいき百歳体操



サポーターと一緒に体操

いきいき百歳体操応援サポーターポコアポコは、いきいき百歳体操の効果やフレイル予防をクイズや歌を交えて楽しく伝えています。



買い物支援

生活 支援

ささえあい商助

買い物などの生活支援、地域での見守り活動、地域の支え合いの仕組みづくりを通じて日常生活の困りごとを事業者の立場から支えています。

安心は支え合いの中に

地域包括ケアシステムは、さまざまな役割によって成り立っています。誰かを支える人も、いつか支えられる立場になるかもしれません。気づいた人が声をかけ、相談をつなぐ。そんな一人ひとりの関わりが、安心して暮らせる地域をつくっています。